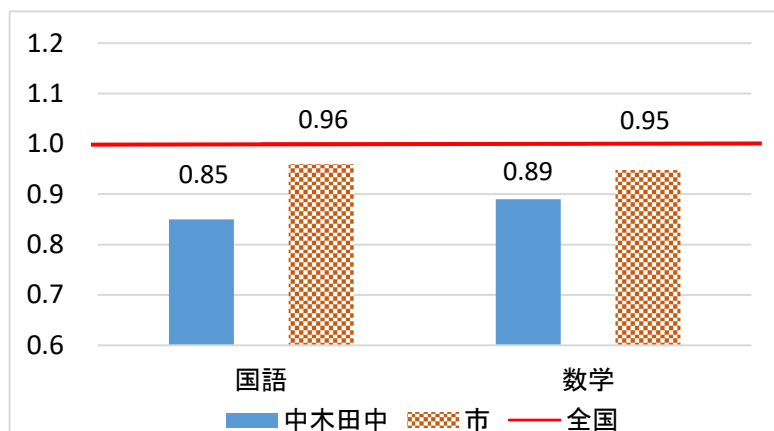


令和3年度 全国学力・学習状況調査について

中木田中学校区 中木田中学校 第3学年

○調査結果（全国平均を1とした場合の平均正答率の比）



○調査結果についての分析、今後の改善方策

【国語】

「話すこと・聞くこと」領域の「話し合いの話題や方向性を捉える」問題や、「読むこと」領域の「場面の展開、登場人物の心情や行動に注意して読み、内容を理解する」問題については、全国と同等または上回る結果であった。今後も、各教科において趣旨を捉えて考えを発表するなどのプレゼンテーションやグループ学習、ディベート等、言語活動を大切にした学習活動を推進していく。

【数学】

「資料の活用」領域の「与えられたデータから中央値を求める」「ヒストグラムからある階級の度数を読み取る」の問題について、全国を上回るまたは同等の結果であった。今後、事柄が成り立つ理由を説明する、数学的に表現することができるなど、説明・表現することにつながる授業づくりを推進していく。

【質問紙調査】

「自分にはよいところがあると思いますか」「自分の思っていることや感じていることをきちんと言葉で表すことができますか」の質問に肯定的に回答した生徒の割合が年々増加し、全国平均を上回った。また、「友だちと協力するのは楽しいと思いますか」の質問についても全国平均と同等となっている。本校での取組が、自己肯定感の高まりや協調性の育成にもつながっている。今後も、生徒の主体性を大切にした取組を推進し、学力・体力の更なる向上を図っていく。

○学力向上の取組

【中学校区】

中学校区3校での研修・授業交流と共に全国学力・学習状況調査の結果の共有を行い、主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業づくりと全市的な小中一貫校への移行を見据えた義務教育9年間の小中一貫カリキュラムの構築に向けた取組を推進している。

【学校】

「自ら学び 共に歩み 未来を拓く子ども」の育成を目標に、ねやがわスタンダードを推進し、授業プロセス（課題・めあての設定、自力解決、学び合い、まとめ、振り返り）を大切に、生徒にとって分かりやすい授業と生涯学び続ける力の育成に向けた取組を推進している。